

# 佐高 Q & A

## 中学生や保護者からの「よくある質問」にお答えします。

**Q** 既にできあがっている附属中出身者の集団の中に後から入って行って、うまく人間関係が築けるかどうか不安なのですが、大丈夫ですか？

**A** 心配ありません。高校からの入学定員は55人です。入学後4クラスに分かれますが、ほとんどのクラスで、附属中出身者に対して高校からの入学生は3分の1程度の人数比になります。たった一人で集団の中に入るわけではありません。それに、学校生活を共にしている間に自然と仲がよくなっていきます。将来、大学等に進学するときも社会人になるときも、新たな門出に際して初対面の人との出会いはつきものです。それを通して人間関係や人生を豊かにできる可能性もあります。そういうふうに物事を前向きに考えられることも「生きる力」につながるでしょう。

**Q** クラス分けの仕方や、高校からの入学生がS Aクラスに入る基準はどうなっていますか？

**A** スーパーアドバンス（S A）クラスを1クラス、アドバンス（A）クラスを3クラスに分けます。クラス分けの基準は、過去のクラス分けのデータに基づき、高校からの入学生がS Aクラスに入る人数を算出し、選抜検査の成績等に基づき該当者を決定します。Aクラス3クラスについては、S Aクラスに該当しなかった生徒を、選抜検査の成績等に基づき、人数が均等になるように分けます。

**Q** 学習についていけますか？

**A** 附属中で高校の先取り学習はしていませんので、学習のスタートラインは、附属中出身者も高校からの入学生も皆一緒です。高校入試を突破して入学してくる高校からの入学生が、附属中からの入学生と切磋琢磨し、本校に新たな活力をもたらしてくれることを期待します。

**Q** 特色選抜はどのように行われますか？

**A** 学力検査（国語、数学、英語→各30分）と個人面接（10分程度）です。

**Q** 特色選抜の学校作成問題は難しくありませんか？

**A** 一般入試の学力検査と同程度の難易度で、分量を少なくして（一般入試の5分の3程度）出題します。中学校の学習にきちんと取り組み、県立高校の一般入試の対策をしていれば、佐高のための特別な学習は必要ありません。

**Q** 高校からの入学生の大学進学状況はどうなっていますか？

**A** 多くの生徒が希望の進路実現を目指して勉学に励み、結果を出しています。

### 高校からの入学生の大学合格状況（平成27年3月卒業生）

国公立大学 (15名)	岩手大学(1)、福島大学(1)、茨城大学(1)、筑波大学(1)、宇都宮大学(2)、群馬大学(1)、信州大学(1)、新潟大学(1)、高崎経済大学(3)、群馬県立女子大学(2)、山梨県立大学(1)
私立大学 (延べ77名)	中央大学(2)、法政大学(2)、明治大学(1)、東京女子大学(1)、国土館大学(2)、芝浦工業大学(1)、拓殖大学(2)、東洋大学(5)、日本大学(5)、白鷗大学(7)、国際医療福祉大学(2)、獨協医科大学(1)など